



## 西日本新聞に掲載されました

はやした・とみか 1971年、諫早市生まれ。2003年3月に徳島大歯学部を卒業後、島原市や岡山県の歯科医院に勤務。10年7月に諫早市立石町に「はやした歯科医院」を開院し、院長を務める。日本顎咬合（がく）学会（N）学会がみかむせ認定医。



聞いてみました

林下 富貴さん (45)

はやした歯科医院院長

## 高齢者施設での口腔ケアの成果は？

誤嚥性肺炎は高齢者に多く、むせたり異物が入ってきたりしても反射できず、肺で炎症を起こします。予防として口腔ケアをしっかりと行うのが肝心です。熊本地震や阪神大震災では被災者が肺炎を発生し、ケアの重要性が指摘されましたが、優先度を低く考えている介護施設が多いのが現状です。

私は、諫早市野中町の特別養護老人ホーム（特養 諫早中央）で入居者の口腔ケアに取り組んでいます。週に2〜3回、歯科衛生士と施設を訪れ、入れ歯のケアや口腔内のチェックなどを行っています。

誤嚥性肺炎は高齢者に多く、むせたり異物が入ってきたりしても反射できず、肺で炎症を起こします。予防として口腔ケアをしっかりと行うのが肝心です。熊本地震や阪神大震災では被災者が肺炎を発生し、ケアの重要性が指摘されましたが、優先度を低く考えている介護施設が多いのが現状です。

私は、諫早市野中町の特別養護老人ホーム（特養 諫早中央）で入居者の口腔ケアに取り組んでいます。週に2〜3回、歯科衛生士と施設を訪れ、入れ歯のケアや口腔内のチェックなどを行っています。

## 肺炎減らし生活改善

日本人の死因の3位を占める肺炎の中で、高齢者に多いのが、口腔内の細菌が食べ物や唾液とともに肺に入り発症する「誤嚥性肺炎」だ。諫早市の高齢者施設で入居者の口腔ケアに取り組み歯科医師の林下富貴さんに成果や留意点を聞いた。（釜沢皓介）

単に治療やケアをするだけではなく、入居者が施設を出て家庭に戻った時に、本来の日常生活が送れるように口腔内をきれいにしたいという思いで取り組んでいます。医療現場でもっと口腔ケアが広がり、肺炎にかかる人が減れば、医療費の削減にもつながります。

もっと他の高齢者施設にも口腔ケアが広がってほしいし、在宅で介護をする人にも知ってもらいたいです。口腔ケアを通して、介護する家族の負担を減らし、高齢者自身も有意義に過ごすことができるように社会を改善していけると考えています。

食べ物の入り口は口。健康な人もっと目を向けてください。正しい歯ブラシを選び、毎食後に磨き、入れ歯は毎日洗浄するなど、日々の心がけが大事です。年2回は歯科検診を受けてほしい。それが健康維持につながります。

## 診療内容

歯科・小児歯科・口腔外科・インプラント  
往診診療など

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:30 ~ 12:30	○	○	○	/	○	/
午前 8:30 ~ 12:30	/	/	/	○	/	○
午後 2:00 ~ 7:00	○	○	○	/	○	/

【休診日】木曜日午後・土曜日午後 日曜日・祝日

〒854-0043  
長崎県諫早市立石町22番8号  
TEL0957-32-8181



島原鉄道 本諫早駅から車で5分 / 徒歩 12分  
マックスバリュから車で2分  
諫早中学校前 駐車場完備

駐車場は6台完備！  
1階に2台、隣に4台ございます



<http://www.hayashita.jp>



## はやした歯科医院

